

繋がる家～物・人・時～

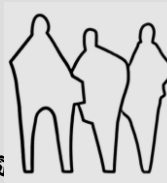
コンセプト

ここは、小高い山の中腹。目線を下げると、海沿いの小さな町が見える。
緩やかな斜面を登るS字のアプローチに繋がるもう一つのS字。中に入ると、アプローチと同じように並んだ柱が流れるような時間を表している。登っていくとフロアごとにスロープで繋がつている。中庭に面した壁にガラスを配置して曲がった光

の部屋も見渡せることでどこからでも家族が繋がる空間を作り出している。
S字の中央を通るように建物の最下部から最上部を繋ぐ階段を設置。一気に階段を駆け上がり、ゆっくりスロープで上がり、若い今から年を重ねた未来までこの建物で繋がつて行く。

使用材料
・つまようじ 110円
・竹串 110円
・厚紙 110円
・折り紙 110円

家族構成
父：42歳
母：40歳
息子：13歳



二つのリビング

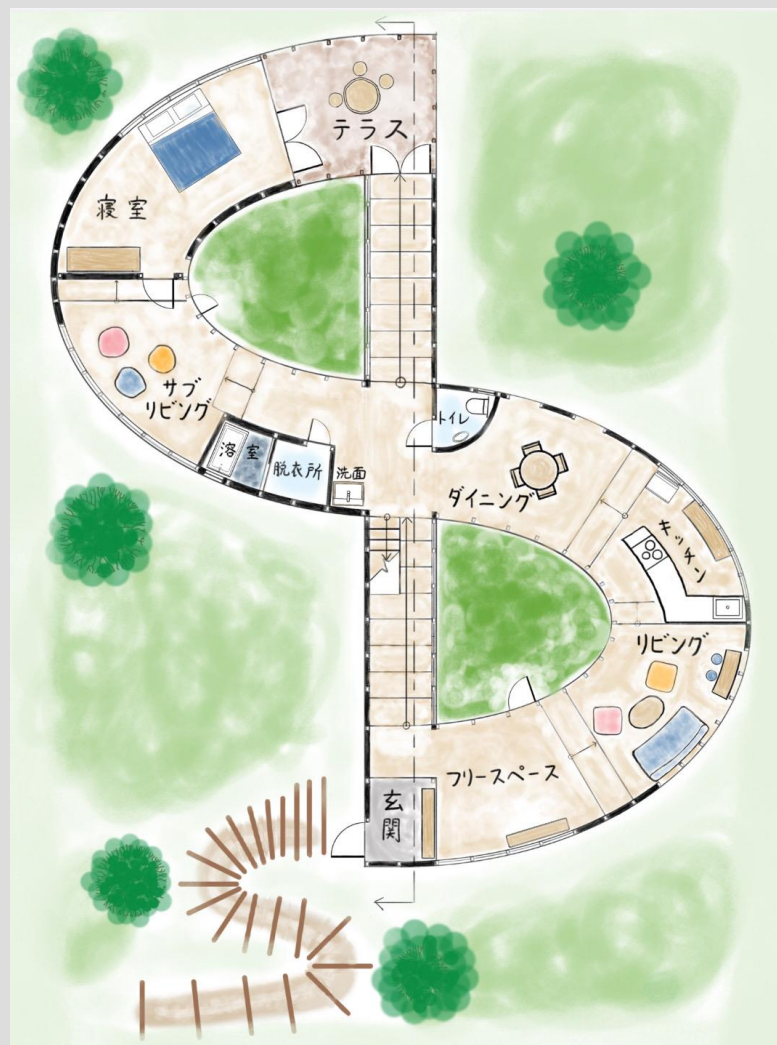
近年、同じ家に住んでいても見るものが異なったり、食べる時間がバラバラだったり家族とのふれあいも減ってきている。
そこで、違うことをしていても一緒にくつろげるようにリビングを二つ設置した。趣味を楽しんでも、作業を行ってもいい。どちらのリビングも大きな窓がついており、きれいな眺望が望める。

フリースペース

お客さんが来た際の応接スペースやパーティーのときなどにリビングを広げる、あるいはストレッチや運動をするスペースなど最も玄関に近い部屋なので多様な方法で使う事ができる

多様なキッチン

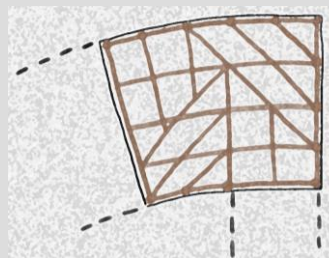
キッチンの中庭方向に曲線的に設置することで建物の奥まで見渡せる。また、リビングとダイニングの間に設置することでどちらの空間でも食事ができる。



1階平面図兼配置図 1/200

屋外テラス

外部空間であるものの、他者からは見えない位置にあるため家族でゆっくりとくつろげる。屋外テラスの上部に木で格子状に作ることで、その影を楽しむ。

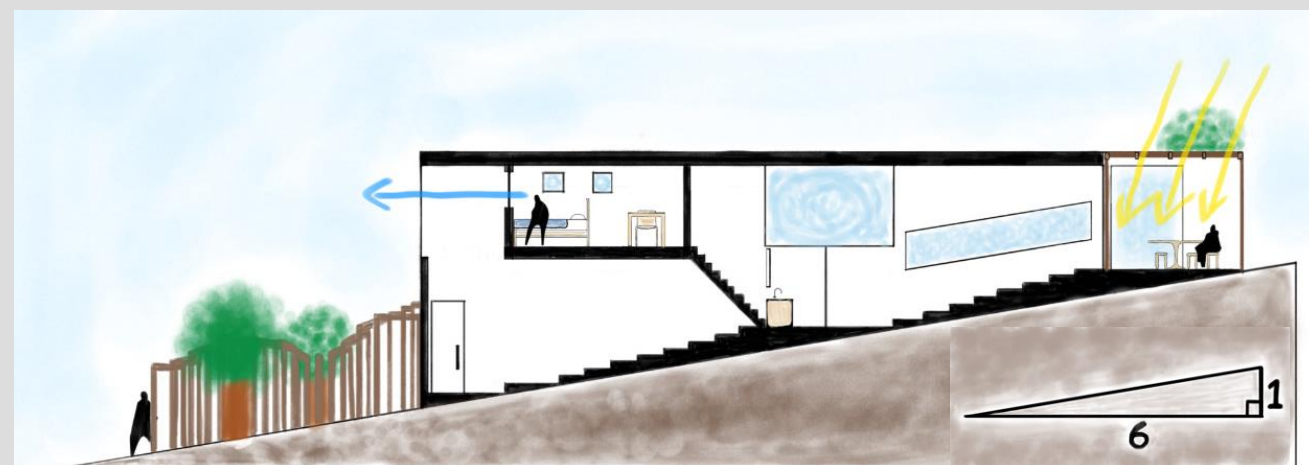


空間の繋がり

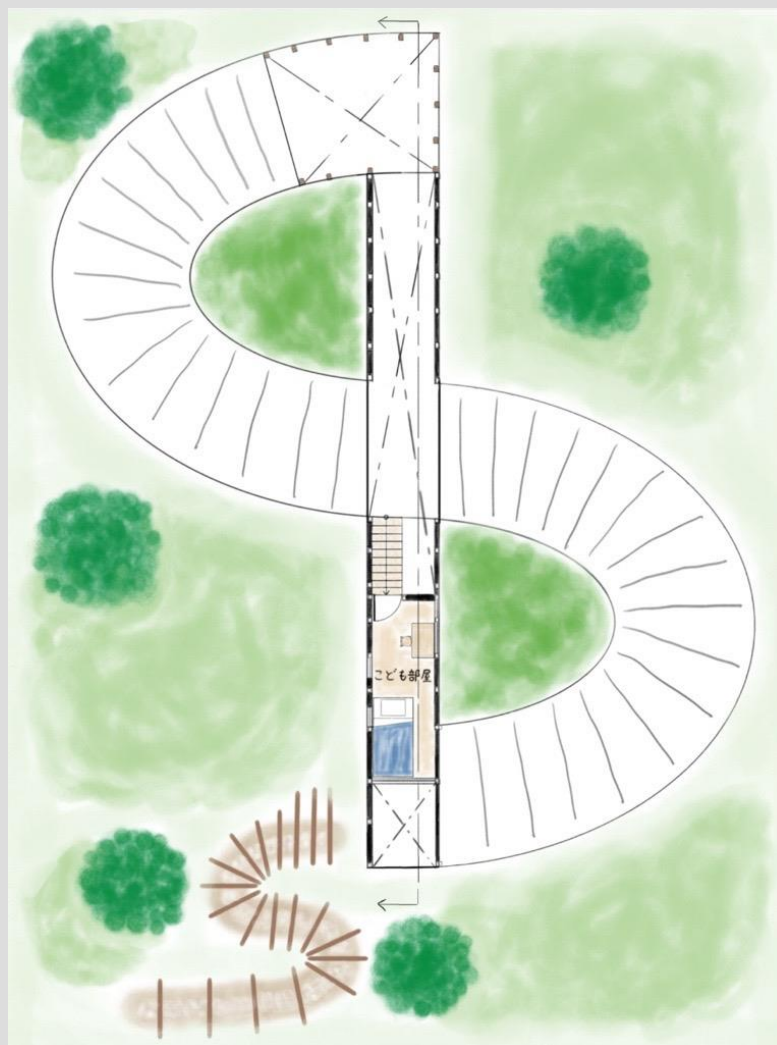
フロアごとに壁もなく、全体的に高低差があるので下の段から上の段、上の段から下の段また斜めからと普段あまり見ることのない様々な視点から建物をミウることができる。

空間の違い

S字のスロープを設置することで急な斜面もゆっくりと緩やかに登れ、斜面の角度をそのまま利用した階段を設置することで斜面がはつきりわかるようになる。



断面図 1/200



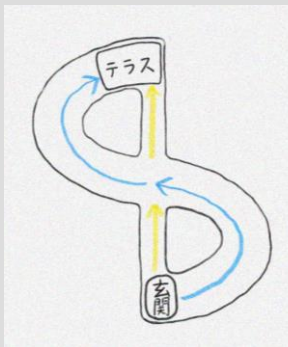
2階平面図 1/200

二階平面

二階は階段の上に子供部屋を一部屋設置した。一階にリビングなどのくつろげる空間が複数あるため、ベッドと机を置ける最低限の大きさである。中庭側の窓からはキッチンやダイニングが見下ろせる。玄関側にも窓があり、その奥もガラス張りになっているため素晴らしい景観が望める。

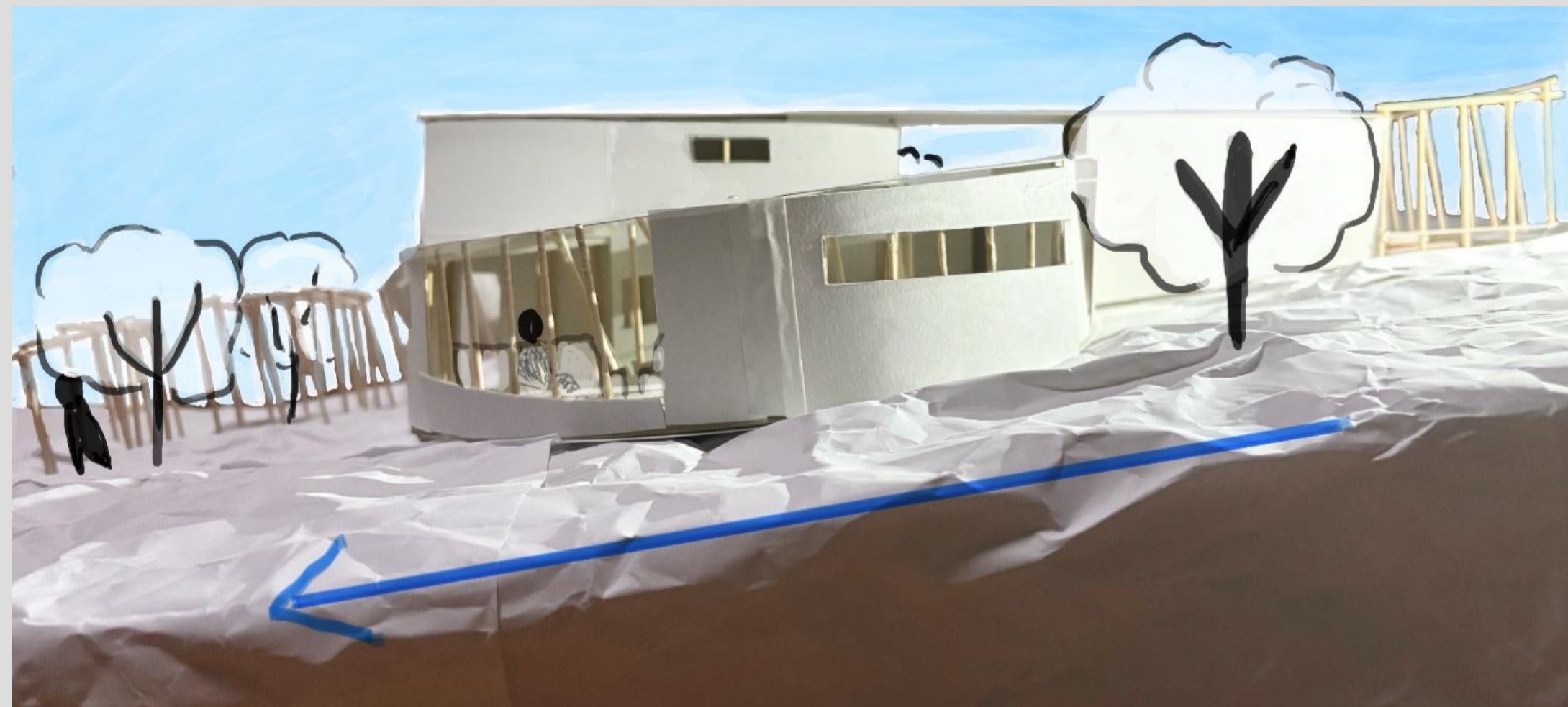
道の選択

スロープと階段を設置することで最下部から最上部への行き方が4通りでき、気分や用途によって選択できる。若いうちはよく階段をよく使い、年を取ってからはスロープを使うなどの選択もできる。



断面配置

傾斜を利用した階段部分の屋根は水平になっているので天井の高さが変わってくる。そのため斜面下側の天井高の高いところに二階を設置した。また、S字の建物と直線の階段が交差する部分は他のところよりも壁が多くなり少し暗くなってしまうので天井付近にガラスを設置した。

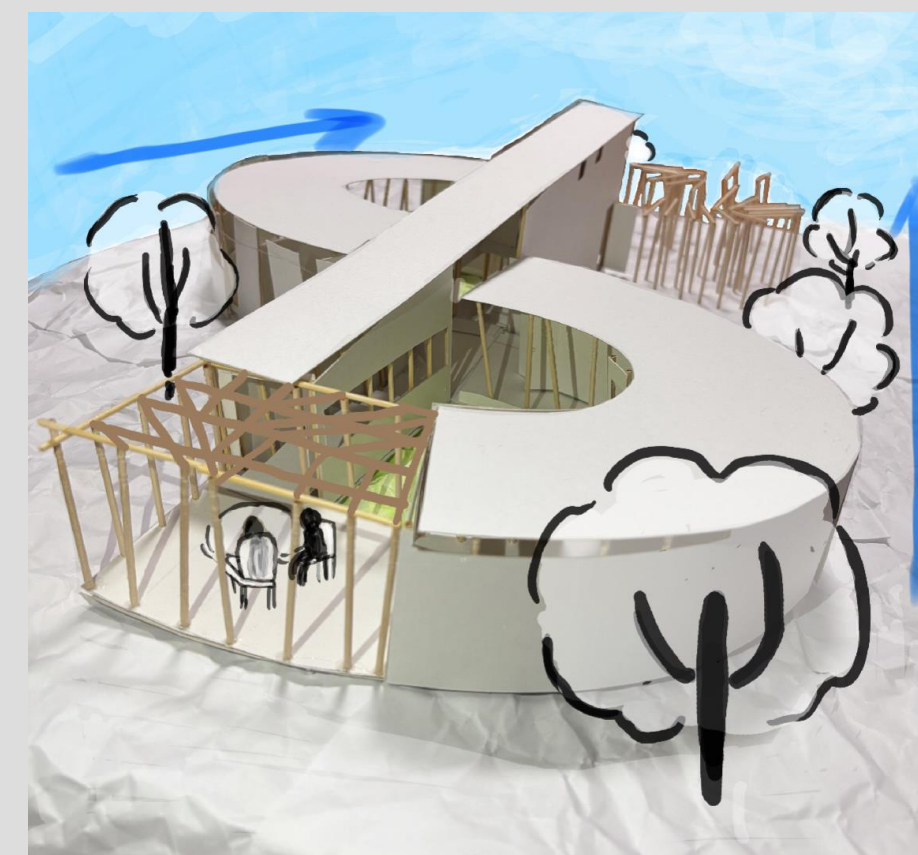


斜面真横からの様子：S字に伸びる屋根は斜面に平行、中央を通る直線の屋根は水平線に平行になっている

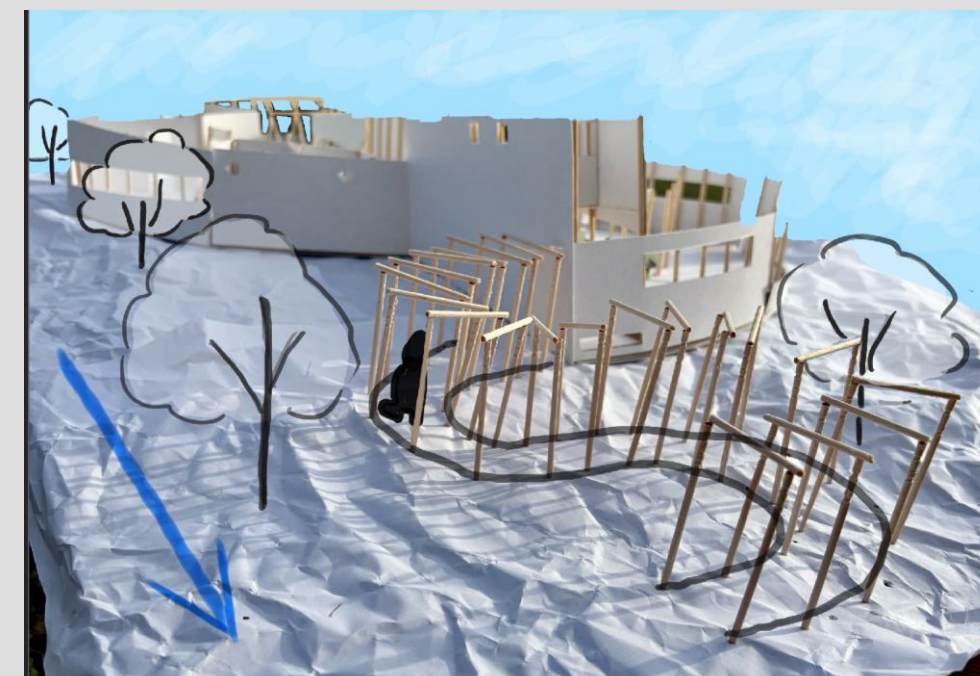
「繋がる家」



建物内部の様子：
斜面に立つ木をイメージして、柱を斜めなど様々な角度にしている



斜面上部からの様子：
格子のついたテラスから建物がなだらかに下っている



アプローチ方向からの様子：
S字のアプローチがそのままS字の建物に繋がる